

気候変動脆弱地域の複合地盤災害のリスク評価に関する委員会ワークショップ

土木学会北海道支部では、北海道のような気候変動災害脆弱地域において、過去の降雨や地震履歴、経年的に変化する地盤の特性を反映できる手法を検討し、災害リスクの総合的な評価手法および対策法を確立することを目的に、平成31年度に「気候変動脆弱地域における複合地盤災害のリスク評価に関する研究委員会（第1期）」を設立し、現在、2期目（令和4年度～6年度）の活動を開始しております。

令和3年度は、土木学会西部支部主催の合同シンポジウムを開催し、学際領域を超え、気象学、地盤工学ならびに水工水文学に関する最新の情報収集、それらのデータ解析を行いながら、気候変動に伴い変化する複合地盤災害の潜在的な被災危険度について議論しました。令和4年度も引き続き情報交換・交流の場を設けることにいたしました。西部支部とさらなる協働を深め、この問題の対応策を議論します。

記

- 主 催 : 土木学会北海道支部
(担当: 気候変動脆弱地域の複合地盤災害のリスク評価に関する研究委員会)
 - 共 催 : 土木学会西部支部

 - 期 日 : 2023年3月29日(水) 15:00~18:00
 - 会 場 : TKP 札幌駅カンファレンスセンター (カンファレンスルーム 2C)
<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-sapporo-eki/access/>
 - ワークショップの内容
- ① 話題提供 (10分程度/1人)
北海道支部, 西部支部 各5名程度
 - ② 意見交換

問い合わせ先: 公益社団法人土木学会北海道支部 事務局

〒060-0061

札幌市中央区南1条西2丁目南一条Kビル8F

TEL: 011-261-7742

E-mail: hjsce@olive.ocn.ne.jp

プログラム

1. 委員長 挨拶 (15:00~15:05)

北海道支部 北海道大学 石川 達也

2. 話題提供 (15:05~16:35) (発表 10 分, 質疑 5 分)

司会 北海道大学 山田 朋人

15:05~15:20 「福岡県斜面道路被害 DB を活用した斜面道路災害免疫力評価と気候変動影響世界への適用の試み」

福岡大学 村上 哲・松永 晶

15:20~15:35 「浸透に伴う堤体のすべり破壊の早期検知に向けたシート状センサーの適用に関する研究」

九州大学 石藏 良平

15:35~15:50 「災害免疫力の算定に繋がる切土のり面の実用的な安定度評価モデルとその適用例の紹介」

九州大学 安福 規之

15:50~16:05 「気候変動影響評価に向けた観測データにおける気候変動の顕在化時期の把握-日本全国と九州地方 1 級河川流域を対象として-」

九州大学 丸谷 靖幸

16:05~16:20 「筑後川の松原・下笠ダムにおける異常洪水時防災操作への気候変動影響評価と同操作回避方法の検討」

九州大学 矢野真一郎

休 憩

司会 九州大学 石藏 良平

16:30~16:45 「胆振東部地震後の厚真川からの浮遊土砂流出について」

寒地土木研究所 水垣 滋

16:45~17:00 「豪雨による緩斜面災害を軽減するための研究-寒冷地に特有な斜面堆積物の判定手法の開発-」

北海道立総合研究機構 石丸 聡

17:00~17:15 「融雪を考慮した事前通行規制の考え方」

寒地土木研究所 日外 勝仁

17:15~17:30 「機械学習による降雨・地盤の地域特性を考慮した広域斜面災害リスク評価」

北海道大学 石川 達也・九州大学 笠間 清伸

3. 意見交換 (17:30~18:00)

司会 室蘭工業大学 川村志麻

4. 閉会

西部支部 九州大学 安福 規之